

ウミガメは、僕たち、 私たちが守ります



▲蓮沼南浜子ども会は、ウミガメの保護を行い、地元の海をきれいにします。

蓮沼南浜子ども会の保護者と子どもたちは、7月16日、ウミガメの産卵した卵を守るために、横芝光町でウミガメの保護活動を行っている光ライオンズクラブ自然環境委員長の新加瀬正義さんからウミガメの生態と保護について話を聞きました。今年も、蓮沼の砂浜4ヶ所にウミガメが上陸。

子どもたちは、産卵場所が荒らされないよう囲いをし、安全を確保しました。また、孵化した子ガメは、海に戻る際、深さ2〜3cmのタイヤ跡も越えることができず。常に海岸清掃をするなど保護活動の協力を約束しました。

ウミガメの保護活動を行い美しい海を残す

加瀬さんは「ウミガメについて、広報紙等で取り上げてもらい、多くの市民の方が、子どもたちが知ってくれるのはうれしい。しかし、広く周知することで、心ない人が、でてこないともかぎらない。この場をかりてウミガメの保護活動に理解を深めていただくとともに、協力をお願いします」と話していました。

ウミガメの保護にご協力をお願いします

ウミガメは、上陸から産卵を始めるまでの間は、非常に警戒心が強い動物です。光を照らしたり、驚かしたりすると卵を産まずに途中で海に戻ることがあるので次のことに注意してください。

ウミガメが上陸している様子がある時

- むやみに歩き回らない。
- ライト等あかりの点灯をひかえる。
- 上陸中や穴掘り・産卵中のウミガメには近づかない。
- むやみにさわらない。

※日本は北太平洋唯一のアカウミガメの産卵地であり、春から夏にかけて、産卵のため、砂浜が上がってきます。穴を掘ってピンポン玉ほどの大きさの卵を一度に100個ほど産み落とします。卵は、2か月ほどで孵化し子ガメは海へ旅立ちます。



▲真剣に話を聞く子どもたちと保護者。

地引網を体験

7月15日、小松海岸で地引網体験が行われました。(通常は、蓮沼南浜海岸で実施)

参加者は、元気がいっぱい綱を引いていました。獲れた魚の多くはイワシで、中にはエイも獲れていました。この地引網体験は、蓮沼南浜観光組合が主催で、7月から9月第一週まで毎週日曜日、午前9時から10時半まで蓮沼南浜海岸で行われています。※海の状態により中止の場合もあります。



問

ホテル浪川荘 ☎(86)2259
蓮沼シーサイドイン小川荘

☎(86)3315